

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属                      国保年金課

(1) 補助金の内容

名 称	脳ドック費用の助成		
交 付 開 始 年 度	令和2年度	終了予定年度	
交 付 先	満40歳以上75歳未満の浦安市国民健康保険被保険者		
交 付 の 目 的 ・ 必 要 性	国民健康保険の被保険者の脳ドックの受診を促進することにより、脳血管疾患の早期発見及び早期治療を図り、もって、被保険者の健康の保持増進及び健康寿命の延伸並びに医療費の適正化に資すること。		
対 象 事 業 の 内 容	脳ドックの受診者に対し、脳ドックの費用の助成を行う。助成金の額は、15,000円とする。ただし、脳ドックの費用に掛かる自己負担額が15,000円に満たない場合は、当該自己負担額を限度とする。また、当該年度を含め過去2年度以内に脳ドック費用の助成を受けていないこと。		
形 態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助    ⇒    割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助		
直 近 の 見 直 し 状 況	見直した時期	特に無し	
	内 容		
交 付 申 請	受領書類	<input type="checkbox"/> 事業計画書 <input type="checkbox"/> 収支予算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（脳ドック費用助成申請書）	
	確認内容	脳ドックを支払ったことを証明する書類（領収書）を添えて申請する。	
実 績 報 告	受領書類	<input type="checkbox"/> 事業計画書 <input type="checkbox"/> 収支予算書    その他（                      ）	
	確認内容		

# 補助金等調査表（チェックシート）

## （2）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	特定の個人又は集団に利益をもたらす	評価の理由・具体的な根拠指標 脳ドックを受診するきっかけとなり、脳血管疾患の早期発見につながり、そのことにより、医療費の適正化につながる。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 市の被保険者の死因第3位に脳血管疾患が上がっており、助成による早期発見ができれば健康寿命の延伸及び医療費の適正化につながる。 ※死因 第1位：がん、第2位：心疾患、第3位：脳血管疾患
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	ある	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。 被保険者の死因第3位に脳血管疾患が上がっており、助成による早期発見ができれば健康寿命の延伸及び医療費の適正化につながる。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	できる	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がない理由・具体的な根拠を記入 自費で脳ドックを受診できるが、助成により脳ドック受診の負担を減らし、受診者数を増やすことで、脳血管疾患等の早期発見・早期治療につながるため。
	市民ニーズが高いものである。	評価	やや高い	評価の理由・具体的な根拠指標 R2年度は238件、R5年度は445件の申請あり。費用助成の周知が進んだことにより、申請も伸びている。脳ドックの費用の助成に関する問い合わせも増加している。
	市民ニーズに即している。	評価	やや即している	評価の理由・具体的な根拠指標 脳ドックを受診すると、自費で約30,000円程の費用がかかり、個人の負担が大きい。費用の補助があるから脳ドックを受診したとの声は多い。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	できる	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。 市の被保険者の死因第3位に脳血管疾患が上がっており、助成による早期発見ができれば健康寿命の延伸及び医療費の適正化につながる。
	補助期限（終期）を設定している。	評価	未設定	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。 令和2年度より開始した事業であるため、ある程度の実績を踏まえて、期限を設定する必要があると考える。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	はい	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。 浦安市国民健康保険脳ドック費用の助成に関する規則に基づき積算

## 補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	浦安市総合計画 基本目標2「誰もが自分らしく生きられるまちへ」の中で疾病の予防及び早期発見、早期治療の促進が示されている。市民の健康寿命の延伸を図るため、脳ドックの費用の助成は施策として整合している。
補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。		評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	市は今後急激に高齢化が進むと思われる、慢性疾患や複数の疾患を抱える患者が増えることが予測される。そのため、早い段階で脳血管疾患の発見につながる脳ドックの受診は、健康寿命の延伸、医療費の適正化につながり、市の特定を生かした取り組みである。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	保険者が市であり、補助対象者が国民健康保険被保険者であるため。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
	設定済	脳ドックの費用は病院により異なるが、一般的に脳のMRI検査等の費用は約3万円程かかる。費用の助成は、1/2程度である15,000円を上限に助成している。	
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		一概には言えないが、被保険者（市民）の脳血管疾患及び医療費が減ること。	
	評価	評価理由	
	多少の効果を上げている	脳疾患による死亡の割合をみると、令和2年度は13.0%、令和5年度は10.2%と減少傾向にある。	
手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標	
	はい	委託であると、限られた委託先の医療機関での受診になるが補助金であれば、受診者が選んだ全国の医療機関で受診することができる。	
国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。	
	ない		
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	浦安市国民健康保険脳ドック費用の助成に関する規則に基づく経費
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
	対象としていない		

# 補助金等調査表（チェックシート）

## （３） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

平成30年「健康寿命の延伸等を図るため脳卒中、心臓病その他循環器病に係る対策に関する基本法」が成立している。そのなかで、地方公共団体は循環器病の予防等に関する啓発および知識の普及施策に協力するよう努めることとなっている。近隣市においては、船橋市が脳ドックの費用の助成を行っており、契約医療機関で脳ドックを受診した場合、上限10,000円を差し引いた額を対象者が支払う。市川市、習志野市、江戸川区は実施なし。

## （４） 補助金の課題

課題としては、60代から70代の被保険者の申請が多く、40代・50代の働き盛りの被保険者からの申請が少ないため、効果的な受診勧奨について、検討する必要がある。

## （５） 所属長の総合評価

40代、50代の働き盛りの被保険者からの申請が少ないという課題はあるものの、年々申請者が増加し、本市の国民健康保険の被保険者の健康の保持増進及び健康寿命の延伸並びに医療費の適正化に資することができたものと考えます。

## （６） 補助金の今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	脳ドックの受診を促進することで、脳血管疾患の早期発見や早期治療、医療費の適正化を図ることができるため、継続。
---------	--

見直しの時期	
見直しの内容	

廃止の時期	
廃止の理由	